



エコドライブのポイント

● 停止

～ムダなアイドリングはやめよう～



アイドリングはどのくらい損？



アイドリングストップ*1とは、車が停止中にエンジンを止めて燃料を節約することです。

10分間のアイドリングで、130cc*2程度消費します。車を一定時間停止する場合には、エンジンを止めて無駄な燃料消費の節約に努めましょう。

※1 アイドリングストップに関しては、自治体により条例が制定されている場合があります。

※2 エコドライブ普及連絡会「エコドライブ10のすすめ」より

皆さんは下記の場面でアイドリングストップしていますか？

待ち合わせ	休憩中	荷物の積みおろし	コンビニへ立ち寄り
長い踏切で待つ間	駐車場での待機	出発前	信号待ち

走行していなければ無駄な燃料消費となるため、駐停車時にはエンジンを止めるよう心がけましょう。ただし、交差点で自らエンジンを止める手動アイドリングストップは、以下の点で安全性に問題があるため注意しましょう。(自動アイドリングストップ機能搭載車は問題ありません。)

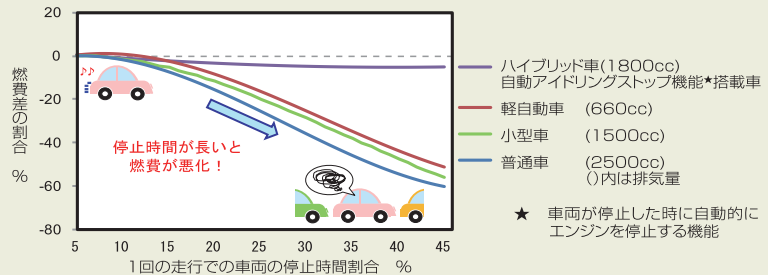


- ・手動アイドリングストップ中に何度かブレーキを踏むとブレーキの効きが悪くなります。
- ・慣れないと誤動作や発進遅れが生じます。またバッテリーなどの部品寿命の低下によりエンジンが再始動しない場合があります。
- ・エアバッグなどの安全装置や方向指示器などが作動しないため、先頭車両付近や坂道での手動アイドリングストップはさけましょう。

アイドリングストップは、安全な場所で実施しましょう！

【アイドリングと燃費】

右図のように、停車中にエンジンをストップしない車とストップする車(アイドリングストップ車)(右図ではハイブリッド車)とでは、車両停止時間の割合が大きいほど、エンジンを停止しない車の燃費が悪化します。待ち合わせや休憩時など長時間停止するような場合は、積極的にアイドリングストップを行いましょう。



出典：経済産業省 資源エネルギー庁
平成24年度省エネルギー設備導入等促進事業 報告書より

また、現在販売されているガソリン乗用車での暖機運転は原則必要ありません*3。

止まって暖機している間の燃料は無駄となるため、エンジンをかけたらすぐに発進し、ゆっくり走りながら車を暖めるウォームアップ走行を行いましょう。

※3 -20℃程度の極寒冷地や、1ヶ月以上車を使わなかった場合は、数十秒の暖気が必要。